

現状打破

コンフォートゾーン を抜け出す

居心地の良い現状——「コンフォートゾーン」への安住は、やがて衰退につながる。未来を見据え、社員と共に成長するために現状打破を試みる3企業の挑戦の記録！ 取材・文 川内イオ

かわうち・いお 1979年生まれ。広告代理店勤務を経て2003年よりフリーライターに。著書に「稀食満面 そこにしかない「食の可能性」を巡る旅」(主婦の友社)など。

現状打破 ①

「ぽぽちゃん」生産終了で、 “守る戦い”をやめた

二〇二三(令和5)年九月、弊社の看板商品ともいえる抱き人形「たんぽぽのぽぽちゃん」の生産終了を発表しました。問屋へ挨拶^{あいさつ}に行ったりころ、まだ年間三億〜四億円の売り上げがある商品の生産をやめるとい

長年売れ続けていた
「ぽぽちゃん」との別れ

創業以来最大の収益を得た年の異例の決断——陣頭指揮を執る桐渕氏に、真意を聞いた。



(撮影 編集部)

ピープル株式会社

取締役兼代表執行役 桐渕真人

【会社概要】▷玩具創業 1982年 ▷事業内容 玩具・遊具等の企画開発・販売 ▷従業員数 47名 ▷本社 東京都中央区